

今月の話題「繭（まゆ）」

昨年度、繭(まゆ)玉工作の行事を行った際、ストックしておいた繭をすべて使い切ってしまいました。そこで、また行事を行う際に必要な繭を確保するため、横浜にある神奈川県シルクセンター内のシルク博物館から、カイコの卵をおよそ900粒分けていただきました。(ちなみに450粒500円でした)

生糸生産は明治以降日本の基幹産業だったので(群馬県の富岡製糸場は2014年世界遺産に登録されました)、生糸の元となる繭の生産は、重要な農産業でした。この繭を作るのは皆さんよくご存じの昆虫、蚕(かいこ)であり、大切な“家畜”として飼われていました。

カイコも生き物ですので様々な病気にかかります。江戸時代末期、ヨーロッパの主要な生糸生産国であったフランスでは、微粒子病という、卵を介して幼虫がかかる病気が蔓延(まんえん)し、養蚕(ようさん)業が壊滅状態になったことがありました。この時、徳川幕府(徳川家茂)からカイコの卵がフランス皇帝ナポレオン三世に送られたそうです。日本でも明治期に、この病気の蔓延を防ぎ、国内の養蚕業を守るため、個人でカイコの成虫を飼育して卵を採ることは法律で禁止されました。その後、養蚕業が衰退し、採卵を禁止する意味が無くなったため、この法律は1998年(平成10年)に廃止されました。ですから、現在では誰でも自由にカイコに卵を産ませることができます。

カイコは中国、台湾、朝鮮半島、日本列島およびロ



6/9(日) 知って安心! ヤマビルのひみつ (22人)

参加者の声 ・実物を見るのも初めてで、未知の生物でしたがじっくり観察することができ、ただ恐れていただけの存在が少しかわいく思えました。これからはムダに恐れず対策をして山遊びに行けそうです。
・実際のヒルをつかって観察したり、実験したりできて大変楽しかった。よく見たことが無かったので興味深かった。

6/23(日) はじめての魚つり~自然の道具で釣ってみよう~ (16人)

参加者の声 ・雨で釣りができなかったが、浮き沈み工作おもしろかったです。漁協のお話や漁業権、漁期のことなど全く知識がなかったので、勉強になりました。ルールを守って釣りを楽しむことが大切だと分かりました。
・魚の実験やひものむすびかたやつりのせつめいとかがたのしかったです。



上: 終齢直前(4眠)のカイコの幼虫
下: 木のまぶしに作られた繭

シア極東部に生息するクワコと呼ばれる野生のカイコガ(クワコは飛ぶことができます)の中から、より絹糸(けんし)量の多いもの、より移動性が無く飼いやすいものを選択し、家畜化したものです。人工的に進化のスピードを上げたため、現在では人が飼育しなければ生きることができない生物になってしまいました。

かつて基幹産業だっただけに、カイコについて

様々な研究がなされてきました。カイコは基本的に1年に2回ほど成虫になりますが、秋に羽化した雌成虫が産む卵は、冬を越さないと孵化しない休眠卵になります。休眠卵を産むか、すぐに孵化する非休眠卵を産むかは、産卵する成虫が卵の時に決まり、25℃、明(16時間明、8時間暗)条件(これから秋、冬を迎える夏の条件)で孵化(ふか)した幼虫が成虫になった時、産卵される卵は全て休眠卵になります。

養蚕には、必要なときにいつでも孵化させることができる休眠卵が便利です。休眠卵を産ませてそれを低温の冷蔵庫(冬の条件下)に置いて保存すれば、いつでも飼育が始められ、計画的に養蚕ができます。このとき、卵を保存する冷蔵庫は低温なのに乾燥しない、富

くずはの家 夏休み自然教室案内



※保護者同伴: ⑦と⑨は6年生以下、その他は小学2年生以下 ①②⑤⑧⑫は保険代50円
抽選の申し込み受付は7月10日(水)に終了。定員に達していないものは12日(金)より先着順で受け付けます。空き状況はホームページをご確認ください。

テ	マ	日	時・対	象
①	親子で水遊び~竹の水でっぽう作り~	7月20日(土)	9:30~12:00	親子30名
②	水生生物教室 @東公民館付近の金目川	7月23日(火)	9:00~12:00	小学生24名
③	葉っぱのたたき染めに挑戦	7月25日(木)	9:30~12:00	小学生以上20名
④	広場で虫をさがそう	7月27日(土)	9:30~11:30	小学生以上30名
⑤	ちびっこあつまれ! 川あそび	7月28日(日)	10:00~11:30	3~6才の幼児と保護者20名
⑥	親子で生き物大調査~in 今泉あらい湯水公園~	8月3日(土)	10:30~12:00	小学生以下の親子10組
⑦	セミの羽化観察	8月3日(土)	18:30~20:30	どなたでも30名
⑧	危険を知って楽しむ くずは川探検	8月4日(日)	9:30~12:00	小学生以上の親子8組
⑨	ナイトウォッチング~夜の森探検~	8月10日(土)	18:30~20:30	小学生以上30名
⑩	クモのふしぎ大発見! ~はじめてのクモ観察~	8月11日(日)	9:30~11:30	小学生以上20名
⑪	生物の知恵を学ぼう~君も明日から発明家~	8月12日(月・祝)	9:30~11:30	小学生以上20名
⑫	くずは川を歩いて地形や石ころを観察しよう	8月17日(土)	9:30~11:30	小学生以上20名

士山にある「鳴沢氷穴」のようところが以前は使われていました。

カイコは確かに幼虫がイモムシであり、成虫は蛾なのですが、飼育してみると意外にかわいらしさを感じます。羽化した成虫の顔の前に人差し指を置いて、「お手」って言うところとお手をするんですよ。

文: くずはの広場所長 高橋孝洋



今年生まれのカイコの成虫

行事へのお申し込み・お問い合わせは 電話・FAX・メールで

TEL & FAX 0463(84)7874
E-mail: kuzuhaie@city.hadano.kanagawa.jp

7月の休館日: 1日、8日、16日、17日
22日、29日

8月の休館日: 5日、13日
14日、19日、26日

くずはの家HPはこちらから→



秦野ガス・ネイチャーパークくずは

くずはの家の ボランティア活動

☆6月の活動

定例会: 一回目は、梅の実の収穫。木に登る人、下で拾う人、虫取り網で取る人、皆さん童心に帰って楽しく収穫。全部で9kgでした。暑い夏、梅干しやシロップにして休憩タイムにお出しします。お楽しみの後は家の周りや駐車場の草刈りを行いました。

二回目は、毎年恒例のヤマビルおとり調査。広場全体で32匹捕獲されました。こんなにいても吸血被害は無し。皆さんさすがです!
花壇の会: 樹木の剪定と草刈りをしました。春の花を片付け、これから咲きだす夏の花の観察板も設置しました。
とんぼのせせらぎ: 草刈りをし、ぐんぐん伸びてきたアズマネザサを刈り取りました。

☆これからの活動

定例会: 7/18(木)、8/31(土)、9/19(木)
花壇の会: 8/2(金)早朝草取り、9/6(金)
とんぼのせせらぎ: 7月はお休み、8/29(木)

この活動は一般財団法人セブン・イレブン記念財団の助成を受けて実施しています。



くずはの広場観察路マップ

2024年7月1日調べ

①～⑪には観察板があります。
回ってみましょう！

凡 例	
△	つぼみ
▲	咲き始め
○	開花
◎	満開
●	咲き終わり
◇	実
◆	熟した実

増水で渡れず未調査

ほたるの里

タケニグサ○

ミゾホオズキ○
ハンゲショウ○

○ソクズ

ハラン◆

◇アオイスミレ

○ウラジロチコグサ
◆ヤブヘビイチゴ

コナスビ○

○オッタチカタバミ

スズメウリ△

○カタバミ

○ママコノシリヌグイ

アキカラマツ△

◇クリ

△シュロソウ

タイサンボク◇

カラスザンショウ△

ウバユリ△

◇ウルシ

○ダイコンソウ

6月の野鳥

(6月4日～7月1日調べ)

- 1、マガモ
- 2、カルガモ
- 3、キジバト
- 4、アオバト
- 5、オオタカ
- 6、カワセミ
- 7、コゲラ
- 8、アオゲラ
- 9、ハヤブサ
- 10、ハシボソガラス
- 11、ハシブトガラス
- 12、ヤマガラ
- 13、シジュウカラ
- 14、ツバメ
- 15、ヒヨドリ
- 16、ウグイス
- 17、エナガ
- 18、メジロ
- 19、ムクドリ
- 20、キビタキ
- 21、キセキレイ
- 22、セグロセキレイ
- 23、カワラヒワ
- 24、コジュケイ
- 25、ガビチョウ

6月の昆虫

カブトムシの仲間

- カブトムシ
- ノコギリクワガタ
- コクワガタ
- カナブン
- シロテンハナムグリ
- クロハナムグリ
- エンマムシ
- ナガチャコガネ
- キマワリ
- ヤマトタマムシ
- ヒシモンナガタマムシ
- ナガゴマフカミクリ
- ピロウドカミクリ
- ルリボシカミクリ
- アオカミクリ
- オオヒラタシデムシ
- カメノコテントウ
- ナミテントウ



ルリボシカミクリ

チョウ・ガの仲間

- モンキアゲハ
- アオスジアゲハ
- アサギマダラ
- モンシロチョウ
- スジグロシロチョウの仲間
- モンキチョウ
- キタキチョウ
- テングチョウ
- ルリシジミ
- ツバメシジミ



くすばの家

どんじり池

- キキョウ○
- セリ
- ◇ツルウメモドキ
- ウツギ
- ◇サンザシ
- ◎モクゲンジ◎

駐車場

- オオバコ◆
- ユキノシタ
- ◇サンショウ
- ◇サンシュユ
- ◇ミズキ
- ◇クマノミズキ
- ◇カキノキ
- ◇ゴンズイ

カメムシの仲間

- エサキモンキツノカメムシ
- ヨコヅナサシガメ
- セスジナガカメムシ
- マルカメムシ
- オオアメンボ
- ニイニイゼミ

ハチ・アブ・ハエの仲間

- オオスズメバチ
- チャイロスズメバチ
- キアシナガバチ
- キムネクマバチ
- ミカドジガバチ
- ナミジガバチモドキ
- クロオオアリ
- クロヤマアリ
- アミアリ
- ヒメアリ
- オオイシアブ
- アシナガバエの仲間

トンボの仲間

- オニヤンマ
- ヤブヤンマ
- オオシオカラトンボ
- ハグロトンボ
- ミヤマカワトンボ
- アサヒナカワトンボ
- コヤマトンボやご
- アオイトトンボ

その他の仲間

- ヤブキリ
- ヤマトシリアゲ
- クロゴキブリ
- モリチャバネゴキブリ
- ヘビトンボ

くずはの広場トピックス

ニッポンヒラタキ/コバエ…6月4日

チリメンタケ(カワラタケの仲間)の裏で光る小さな幼虫。以前、成虫になるまで飼ったのですが種がわからず。今年発売されたハエ図鑑でようやく名前が判明しました！暗い所で目をこらすと、かすかに青く光ります。

ボウスハゼ初記録…6月13日

丸い頭に横縞模様の体。神奈川県では絶滅危惧Ⅱ類のハゼの仲間、海から上がって来るそうです。10匹ほどが、吸盤のような口で川底の石についた藻を食べていました。

猛禽類バトル…6月15日

葛葉緑地に隣接する市街地の上空でオオタカとハヤブサがバトル！バードウォッチャー憧れの状況に野鳥分科会の皆さんは大興奮でした。